

大宮区

面積 1,275ha 人口 106,721人 (平成17年4月)

緑の現況

東には見沼田圃があり、西には鴨川、中央に鴻沼川が流れています。区の北部には緑の濃い氷川神社・大宮公園一帯が区を代表する重要な緑の資源となっています。しかし、区全体として緑は少なく、特に鉄道沿線一帯で少ない状況です。都市公園は、大宮公園・大宮第二公園・大宮第三公園・大和田公園などが整備されているほか、見沼田圃では合併記念見沼公園の整備を進めていますが、身近な公園の計画的な整備が必要です。



芝川



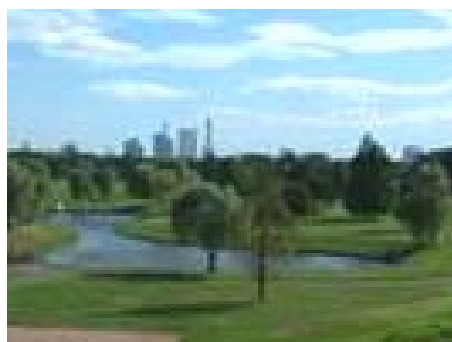
大宮公園



氷川参道(平成ひろば)



普門院



大宮第二公園



大宮小学校芝生グラウンド



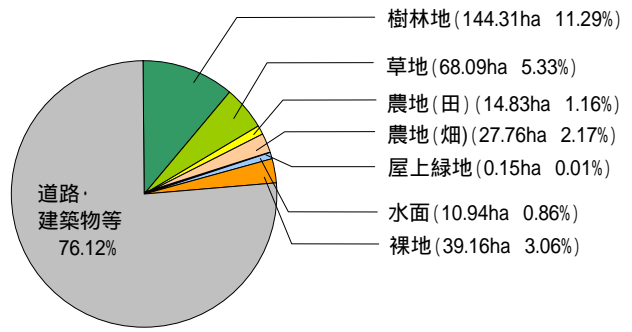
市民花壇



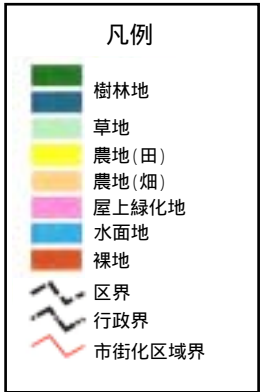
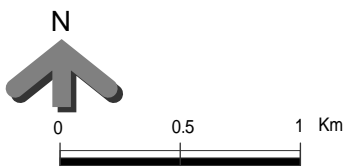
さいたま新都心駅東口

緑の現況

緑被地面積・緑被率
 305.24ha 23.88%
 区民1人当たりの都市公園面積
 8.73㎡/人



緑被分布図





緑の将来目標

氷川神社・氷川参道・大宮公園の緑を守り、育てるとともに、見沼田圃を活かした緑の整備と活用に努めます。

都心を形成する大宮駅周辺・さいたま新都心周辺において、緑を積極的に確保し、魅力あるまちなみの形成に努めます。

公共公益施設や民有地の緑化を進めます。

歴史的資源や屋敷林などの身近な緑を活かした緑のまちづくりを進めます。

緑と水のネットワークづくりを進めます。

今後整備する主な公園など

- ・合併記念見沼公園
- ・(仮)桜木調節池公園
- ・歩いて行ける身近な公園

緑のまちづくりに向けて

氷川神社・氷川参道の緑の保全・育成

- ・氷川神社・大宮公園の緑の保全・育成に努めます。
- ・氷川参道のケヤキ並木の保全と、快適に歩ける参道の整備に努めます。
- ・氷川神社周辺の緑の保全・育成に努め、参道沿道の魅力ある緑化を促進します。

見沼田圃の保全と活用

- ・見沼田圃沿いの斜面林などの保全・活用に努めます。
- ・見沼田圃の保全・活用に配慮した合併記念見沼公園の整備とセントラルパーク構想を進めます。

都心における緑の創出

- ・大宮駅周辺・さいたま新都心周辺では、積極的に緑を確保したまちなみづくりを目指し、緑化地域の指定や緑化重点地区(先導地区)の整備計画の策定を検討します。

歴史を伝える緑や身近な緑の保全・活用・整備

- ・北大宮駅・大宮公園駅・大成駅周辺では、花や緑による魅力づくりに努めます。
- ・生垣の助成など住宅地の緑づくりを支援します。
- ・普門院などの社寺林・歴史的資源や屋敷林・農地などの保全に努めます。
- ・樹林地を保全するために、保存緑地・自然緑地・都市林などを活用し、樹林地の担保性の向上を図ります。
- ・身近な公園や広場などのオープンスペースの整備を進めます。
- ・保存樹木の指定を進めます。

公共公益施設や民間施設の緑化推進

- ・市民・団体・事業者との協働により公共空間や未利用地を緑化するコミュニティガーデンづくりを進めます。
- ・桜木駐車場や区役所・学校などの公共公益施設では、屋上緑化・壁面緑化を含めた多様な緑化に努めます。
- ・事業所や住宅地の庭と道に面した部分の緑化を促進します。
- ・開発などにあわせて屋上緑化・壁面緑化などの多様な緑化を誘導します。
- ・建築物緑化の助成を進めます。

緑と水のネットワークづくり

- ・見沼田圃・鴨川・鴻沼川・高沼用水路を軸として、氷川参道・大宮公園・さいたま新都心一帯を結ぶ緑のネットワークづくりに努めます。
- ・道路整備にあわせて歩行者空間の確保と街路樹の整備を進めます。

市民との協働による緑の保全と緑化の推進

- ・「花いっぱい運動推進会」や「みどり愛護会」などの緑のボランティアの活動を支援します。

用語解説

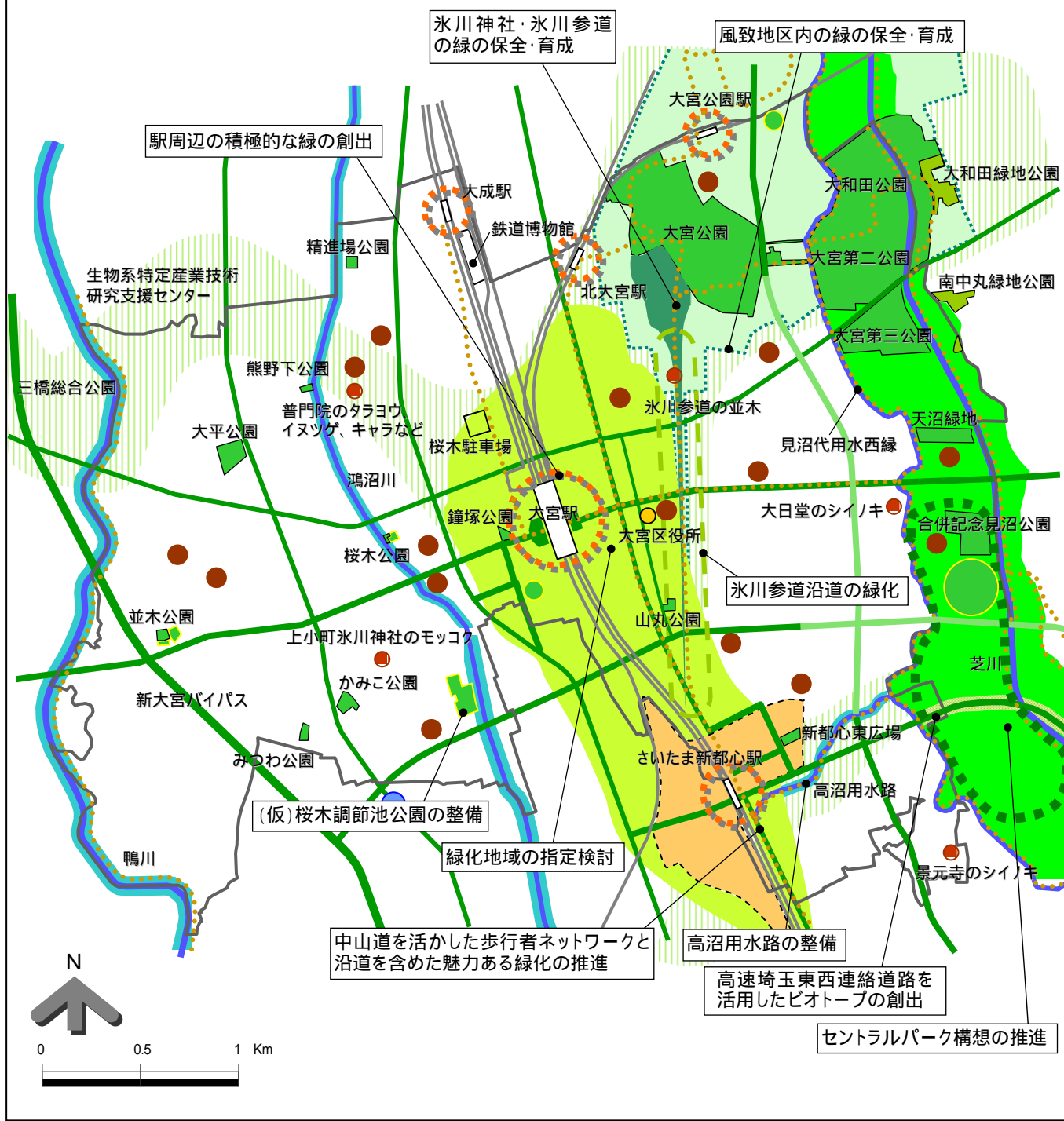
セントラルパーク構想

(P174)

緑化地域

(P176)

大宮区の緑の将来像図



見沼区

面積 3,063ha 人口 151,938人 (平成17年4月)

緑の現況

西には見沼田圃が、東の綾瀬川周辺には水田などの農地と集落地が広がっています。また、見沼田圃には芝川・加田屋川・見沼代用水が、東部には綾瀬川・深作川が流れ、台地を豊かな緑や水辺が取り囲んでいます。台地上には市街地が広がり、中央部には一部に樹林地・農地が残り、南東部には樹林地・農地が多く分布しています。都市公園は、七里総合公園・思い出の里市営霊園などが整備されています。北部では身近な公園の整備が進んでいますが、南部では計画的な整備が必要です。



見沼田圃と斜面林



見沼くらしっく館



猿花キャンプ場



南部浄化センター・みぬま見聞館



七里総合公園



東大宮親水公園



大和田緑地公園



春おか広場

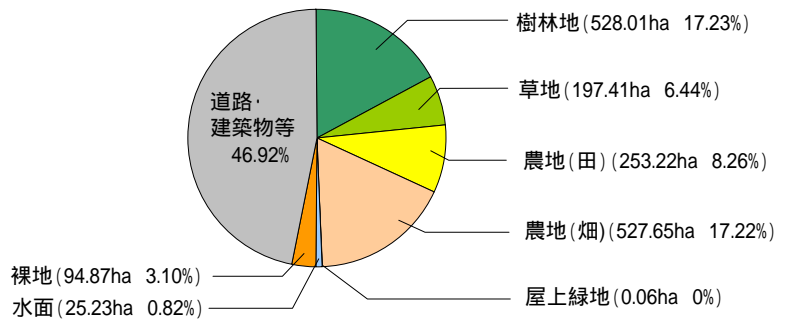
緑の現況

緑被地面積・緑被率

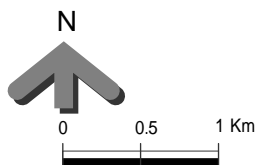
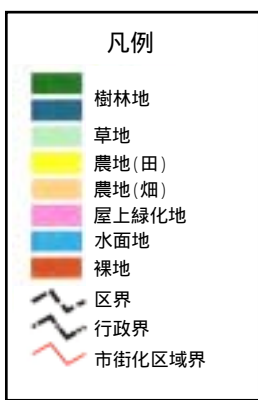
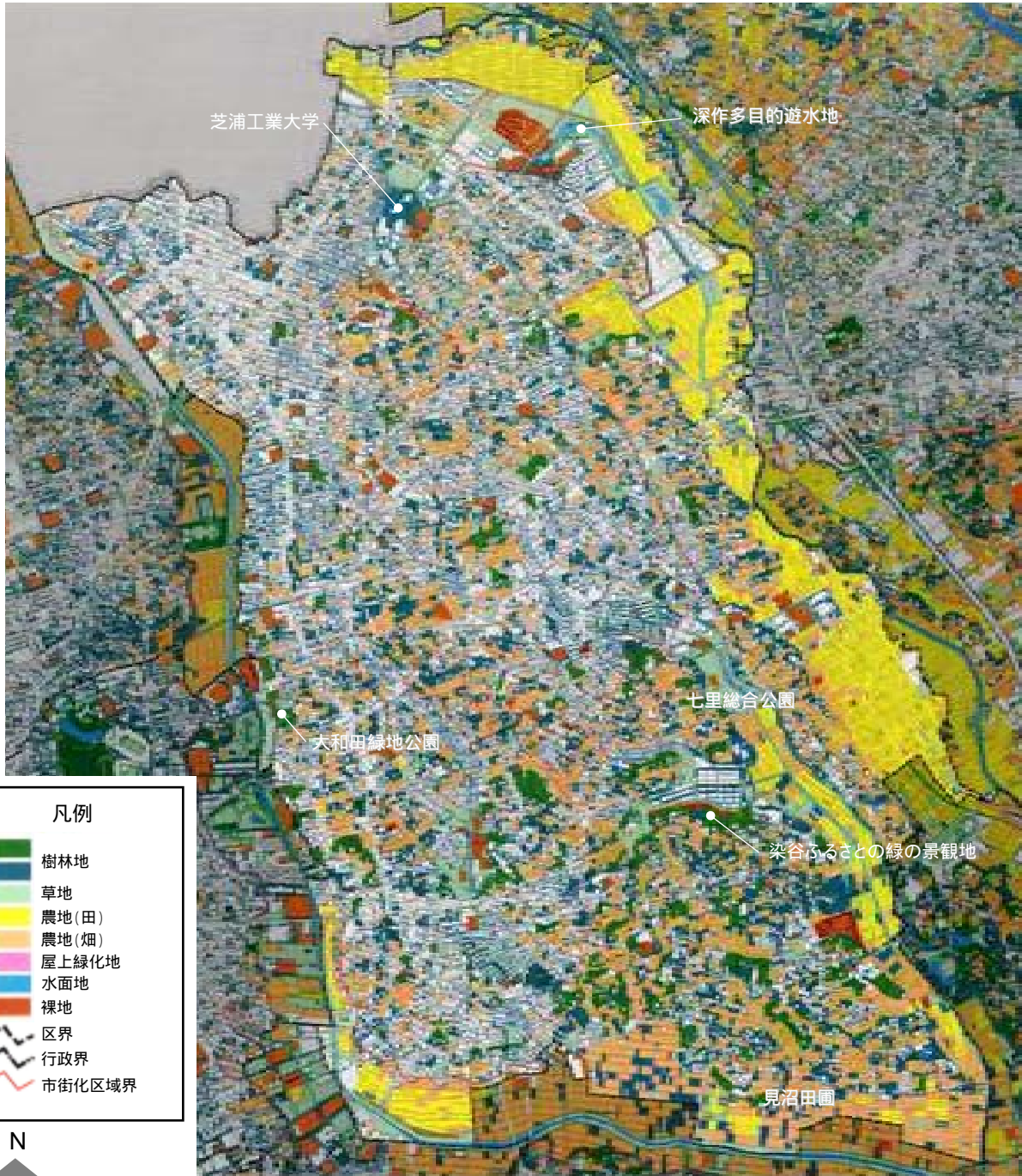
1,626.45ha 53.08%

区民1人当たりの都市公園面積

3.74m²/人



緑被分布図





緑の将来像 見沼の自然環境につつまれた、花と緑のあふれるまち

緑の将来目標

見沼田圃の自然環境とまとまりのある緑を守り、育てます。

歴史的資源や屋敷林などの身近な緑を活かした緑のまちづくりを進めます。

土地区画整理事業にあわせた緑のまちづくりを進めます。

公共公益施設や民有地の緑化を進めます。

緑と水のネットワークづくりを進めます。

今後整備する主な公園など

- ・七里総合公園
- ・(仮)加田屋公園、(仮)見山公園(構想)
- ・クマガイソウの里
- ・歩いて行ける身近な公園

緑のまちづくりに向けて

見沼田圃の自然環境の保全・活用

- ・見沼田圃・周辺斜面林、河川・水路を一体的に保全し、自然・農業とのふれあい・体験の場として活用します。
- ・(仮)加田屋公園など、見沼田圃の自然環境に配慮した公園の整備を進めます。

まとまりのある緑の保全・活用

- ・武蔵野の面影を残す片柳地区一帯の屋敷林・雑木林・農地などの緑の保全と活用を目指し、緑地保全地域などの指定を検討します。
- ・綾瀬川周辺の農地・集落地の緑の保全に努めます。

歴史を伝える緑や身近な緑の保全・活用・整備

- ・社寺林・歴史的資源や屋敷林・農地などの保全に努めます。
- ・クマガイソウ自生地や樹林地を保全するために、保存緑地・自然緑地・都市林などを活用し、樹林地の担保性の向上を図ります。
- ・東大宮駅・大和田駅・七里駅周辺では、花や緑による魅力づくりに努めます。
- ・身近な公園や広場などのオープンスペースの整備を進めます。
- ・保存樹木の指定を進めます。

土地区画整理事業などにあわせた緑の創出

- ・土地区画整理事業などにあわせて、身近な公園の整備と緑豊かなまちなみの形成に努めます。

公共公益施設や民間施設の緑化推進

- ・市民・団体・事業者との協働により公共空間や未利用地を緑化するコミュニティガーデンづくりを進めます。
- ・区役所や学校などの公共公益施設では、屋上緑化・壁面緑化を含めた多様な緑化に努めます。
- ・事業所や住宅地の庭と道に面した部分の緑化を促進します。
- ・芝浦工業大学・日本大学などの緑の保全と道に面した部分の緑化を促進します。
- ・開発などにあわせて屋上緑化・壁面緑化などの多様な緑化を誘導します。
- ・建築物緑化の助成を進めます。

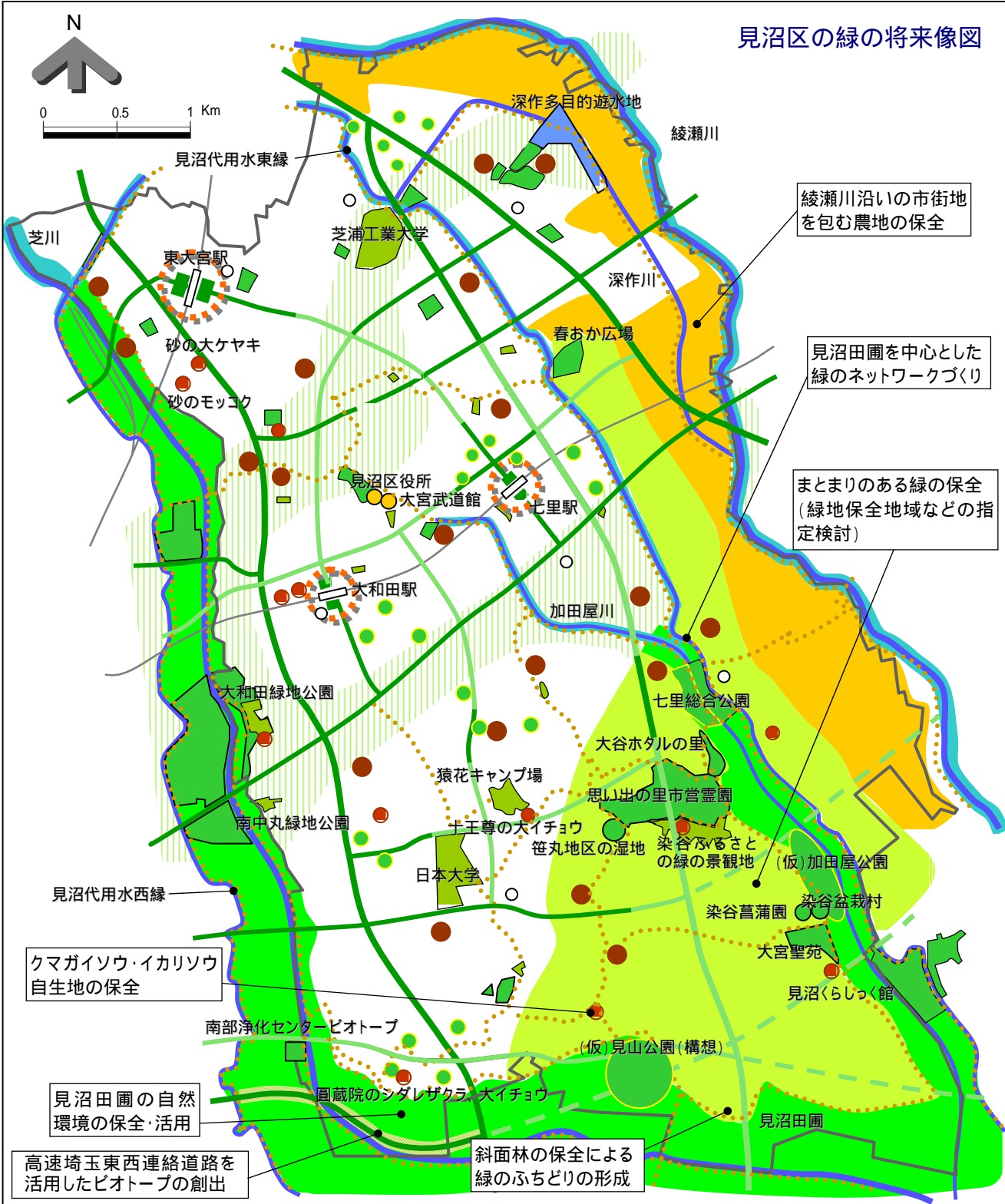
緑と水のネットワークづくり

- ・見沼代用水を軸として、公園や歴史的資源などを結ぶ緑のネットワークづくりに努めます。
- ・道路整備にあわせて歩行者空間の確保と街路樹の整備を進めます。

市民との協働による緑の保全と緑化の推進

- ・「花いっぱい運動推進会」や「みどり愛護会」などの緑のボランティアの活動を支援します。
- ・芝浦工業大学などの教育機関との連携による緑のまちづくりの調査研究を進めます。

見沼区の緑の将来像図



綾瀬川沿いの市街地を包む農地の保全

見沼田圃を中心とした緑のネットワークづくり

まとまりのある緑の保全
(緑地保全地域などの指定検討)

クマガイソウ・イカリソウ
自生地の保全

見沼田圃の自然
環境の保全・活用

高速埼玉東西連絡道路を
活用したビオトープの創出

斜面林の保全による
緑のふちどりの形成

凡例	見沼田圃シンボル軸	主な公園緑地など (計画・構想)	緑の帯	学校
	緑の骨格軸	条例などによる緑地	街路樹・歩道などを 備えた主な道路 (計画)	直売所
	低地部の広がり のある農地	主な歴史・文化の緑	(構想)	主な公共公益 施設
	武蔵野の面影を 継承する緑	花と緑の駅	歩行者ネットワーク	